

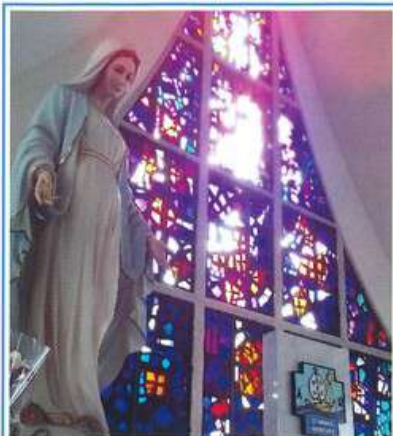
カトリック河原町教会だより

2023年5・6月

教皇フランシスコ 2023年3月5日「お告げの祈り」でのことば（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

四旬節第二主日では、主の変容の箇所が読まれます。イエスはペトロとヤコブとヨハネを連れて高い山に登られ、彼らに神の御子としての美しさを存分に示されます。(マタイ 17・1-9 参照)。この場面について少し立ち止まり、こう自問してみましょう。この美しさは、何で成り立っているのだろうか？ 彼らは、神の聖なる光がイエスのみ顔や服を照らしているのを見ます。御父の完璧な姿です。神の威厳、神の美しさが明らかにされたのです。けれども、神は愛です。ですから、弟子たちはその目で、キリストの中に肉体を得られた神の愛の美しさと輝きを見ました。彼らは、天の国を先取りして見たのです。弟子たちにとっては、なんという驚きだったでしょう。もう長い間、その美しさに気づかぬまま、彼らの目の前で、その愛のみ顔を見てきたのです。そして、この時になってやっと、大きな計り知れないほどの喜びをもって、そのことに気づいたのです。実際には、この経験を通して、イエスは弟子たちを、より重要な過程へと備えさせ、準備をさせておられます。事実、このすぐ後、イエスが十字架に付けられ、そのみ顔が歪んだときに、これと同じ美しさを認識することになるのです。ペトロは理解に苦しみます。ペトロは時を止めたい、この場に留まり、この奇跡的な経験を長く体験したいと思いました。けれども、イエスはそれをお許しになりません。事実、イエスの光は、「魔法のような一瞬」と化すことはありません。キリストは、荒れ野で火の柱をもって人々を導かれたように(出エジプト記 13・21)、わたしたちの旅路を正しい方向へと導かれる光です。イエスの美しさは、弟子たちを現実の生活から遠ざけることはしません。そうではなく、はるばるエルサレムまで、つまり、十字架に至るまで、弟子たちがイエスに従えるよう、力をお与えになります。キリストの美しさは、あなたを遠ざけることはせず、いつも前へと進ませてくださいます。兄弟姉妹の皆さん、この福音は、わたしたちのためにも道を描き出してくれます。イエスのおっしゃること、わたしたちのためにして下さることすべてをすぐに理解できないときでさえ、イエスとともにいることがいかに重要なかを教えてください。実際、イエスとともにいることによって、わたしたちはイエスのみ顔に、わたしたちへの愛の輝かしい美しさを認識することを学びます。たとえそれが十字架というしるしを背負うものであったとしても。また、イエスの学び舎にいて、同じ美しさを、日々わたしたちとともに歩む人々の顔に垣間見ることが学ぶのです。目に見えるかたちの愛の行いをもって、わたしたちが受けた光を他者にもたらすために、出かけましょう。



教会の様子(Instagramより)



アジア司教協議会連盟 シノダリティに関するアジア大陸総会最終文書

洛東ブロック担当司祭 瀧野 正三郎

* 2023年2月23日～27日にタイのバンコクで開催されたアジア大陸総会最終文書の一部を紹介します。

VIII. アジアの回答からの六つの優先事項

1. 養成

166. シノドスの教会のためには、初期、および生涯養成が、家庭や教会基礎共同体から始めて、すべてのレベルの、すべての人々のために必要です。

168. 信徒は、洗礼による招きに従って、神に対し寛大で、教会と那些人々への愛をもって奉仕するために、積極的な役割を果たすよう養成される必要があります。シノドス的な霊性のための養成は、教会の使命と展望の中心になければなりません。

2. 包摂と歓迎

169. 女性、若者、疎外され排除された人、とりわけ、見捨てられた人（たとえばストリート・チルドレン、高齢者）。また、離婚者、再婚者、シングル・ペアレンツ、崩壊した家族、障害のある人、囚人、LGBTQIA+と自認する人、高齢者、薬物依存者、性労働者など）、傷つき被害を受けた人、壊れた家族、性自認に悩む人、土地を追われた人や迫害された人には、相当の司牧的ケアが提供されるべきで、その他あらゆる種類の多くの人は、この「天幕」（教会）の中で自分の場を見つけられなければなりません。

3. 宣教する弟子たち

171. アジアの文脈の中で、わたしたちは、いかに福音を預言者的にあかしし、互いに「ささやき合う」かを学ばねばなりません。そのためには、何よりもまず、イエスとの個人的な出会いや個人的な体験に基づいて自らの信仰を能動的に生き、諸共同体の交わりとしての教会共同体に貢献することが必要です。

4. 説明責任と透明性

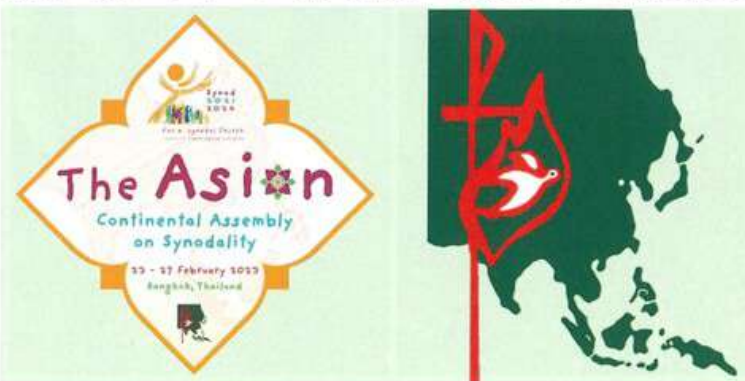
175. 財務的な問題だけでなく、意思決定プロセスや統治においても説明責任を果たし、透明性を確保すること。これには、教会法のいくつかの条項の改訂が必要かもしれません。指導的役割を担う人は、聖職者であれ信徒であれ、信徒や若者の養成にも説明責任を負っています。

5. 祈りと礼拝

177. わたしたちの祈りと礼拝は、アジアの人々の心を映し、それに触れなければなりません。典礼は、誰もが神を賛美するための神聖で安全な空間を見つけられるよう、より「シノドス的」（参加型の、インカルチュレーションされた、関連性のある、楽しい）でなければなりません。教会の生活と礼拝に文化が総合されることで、信者たちの生活がまた、活力化されるに違いありません。

6. 環境

179. キリストの一つのからだの一員として、わたしたちは緑の教会となり、連帯のうちに生き、神の被造界全体の唯一性を尊重し、守り、擁護し、はぐくむよう求められています。環境への配慮は、単に生態系に関するものだけでなく、すべての人、とりわけ貧しい人に影響を与えるため、霊的、社会的な次元をも有しています。



聖週間のアルバム

聖香油ミサ



聖木曜日(主の晩さん)



聖金曜日(主の受難)



復活徹夜祭



復活の主日(日中のミサ)



パン・ナン神父様着任されました



京都南部地区合同堅信式の様子



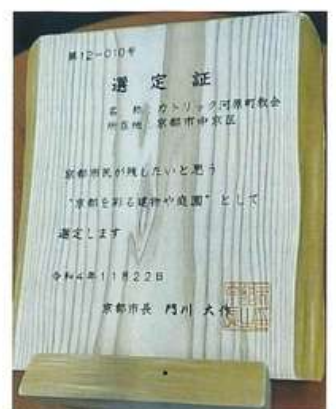
子ども初聖体の様子

4月16日10:30から菅原神父様司式により初聖体のミサが執り行われ、4名が初聖体を頂きました。



京都市から選定証が届きました

京都市から“京都を彩る建物・や庭園”選定証が届きました。北山杉で制作された物です。



2023年6月～8月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
6	4	日	三位一体の主日(年間第9週)
	11	日	キリストの聖体(年間第10週)
	16	金	イエスのみ心
	18	日	[年間第11主日]
	25	日	[年間第12主日] チェジュ教区交流月間祈願ミサ 大塚司教霊名のお祝い 10:30 聖ペトロ使徒座への献金
	29	木	聖ペトロ聖パウロ使徒
7	2	日	[年間第13主日]
	9	日	[年間第14主日]
	16	日	[年間第15主日]
	22	土	Sr.テッシー霊名のお祝い 18:30 集会祭儀中
	30	日	[年間第17主日]
8	6	日	主の変容(年間第18週) 平和旬間行事 日本カトリック平和旬間(~15日)
	8-10	火-木	土曜学校錬成会
	13	日	[年間第19主日]
	15	火	聖母の被昇天ミサ 7:00、10:30
	20	日	[年間第20主日]
	27	日	[年間第21主日]

お知らせ (敬称略)

◆洗礼・堅信 おめでとうございます 2023.4.8

マクダレナ 松田 智子 マルタ・マリア 上田 真理 ラファエラ 佐藤 順子
エステル ヤン・ユナ リディア 山口 麻衣子 ステラ・マリス 足立 英之
リリー・マリア 井上 晴美 エリザベート 上田 真悠子 ジュリアン 神村 武
カタリナ・ガブリエル 亀石 誠 マルタ 山口 実桜 スコラスティカ 藤澤 愛弥
ローザ・マキシミアナ 亀石 昌子 エレミア・ヨブ 中振 悠 アレクシオ 平 修治
ラファエラ・マリア・ポラス 小林 蓮 セシリア 新谷 明子 ブリジット 平 雨佳
イレネオ・シメオン 一瀬 開晟

◆堅信 おめでとうございます(転会者)

2023.4.8 エリザベート 桑原 孝子 2023.4.8 使徒ヨハネ 田村 精太郎

◆洗礼 おめでとうございます

2023.4.16 マリア 石場 絢美 4.23 イーサン 今村 金一 ララス
2023.5.11 ヨゼフ 宮尾 光保
2023.5.14 マリア・アウヰリア 平野 和音 5.14 エウフラシア 藤澤 恩璃

◆転入 ようこそ河原町教会へ

2023.5.15 聖マキシミアノ・コルベ^ス 安田 勇作
2022.12.9 Christopher 雁津 孝則 (1・2月号訂正)

◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2023.4.30 小さき花のテレジア 平野 千代子

主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日もあり)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教とは何か」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00

(Sr.テッシーのチーム)

「ここにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「イエス・キリストの言葉」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

要理通読会

「カトリック教会のカテキズム
要約」の通読

木曜日 11:30(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

聖体顕示式

第3土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「マルコ福音書」を読む

第2日曜日 11:50(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方
向け」は事務室か
rakuto.nyumon.class@gmail.co
m まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2023.5・6 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachiKyoto>